

# 心理学的な支援と応用演習(社会心理学)

単位数

履修方法(授業形態)

配当学年

2単位

SR(演習)

1・2年

担当教員

吉田 綾乃

## ■授業のテーマ

社会心理学の理論と研究知見に基づき、現代社会における偏見・差別や集団間対立などの社会的問題の生起メカニズムを理解し、その解決に向けた方策を検討する。

## ■授業の目的

- 1) 社会的認知の観点から、偏見・差別、排斥行動、集団間対立が生じる心理的・社会的メカニズムを体系的に理解する。
- 2) 社会心理学の学術論文の講読を通して、理論的枠組み、研究方法、解釈を含む社会心理学的研究アプローチを理解する。

## ■授業の到達目標

- 1) 偏見・差別や集団間対立を引き起こす社会的認知メカニズムと状況要因の相互作用について説明できる。
- 2) 現代社会における具体的事例を取り上げ、その生起メカニズムを社会心理学の理論に基づいて分析できる。
- 3) 分析結果を踏まえ、当該問題の緩和・解消に向けた社会心理学的介入や方策を提案できる。
- 4) 関連する学術論文を批判的に講読し、研究の意義や限界について論じることができる。

## ■授業の概要

現代社会では、性別、年齢、文化的背景などの違いをめぐって、偏見や差別、排斥行動、集団間対立といった多様な社会的問題が生じている。本授業では、これらの問題を社会心理学、とりわけ社会的認知の視点から捉え、その生起メカニズムを理論と実証研究の両面から検討する。あわせて、偏見・差別の実態に関する研究成果や具体的事例の分析を通じて、現実の社会問題に対する社会心理学的アプローチの有効性と限界について考察する。現象の理解にとどまらず、問題解決に向けた実践的示唆を導き出すための複眼的な思考力を養うことを目標とする。

## ■スクーリング事前課題(学修時間の目安: 8~10時間)

スクーリング前にテキストを必ず読んでください。また、関心のある問題について、新聞記事などの報道や統計資料などを集めておきましょう。Google Scholarなどのサイトを利用して、関心のある学術論文の検索も行ってください。スクーリング時には、それらの資料を持参してください。

## ■スクーリング授業計画(状況に応じて会場ではなくリモートで実施します)

|   | 授業の内容                           | 授業の方法    |
|---|---------------------------------|----------|
| 1 | オリエンテーション                       | 対面(リモート) |
| 2 | 社会的認知の基礎(1) 対人認知、ステレオタイプ        | 対面(リモート) |
| 3 | 社会的認知の基礎(2) 2過程理論、自動的処理と統制的処理   | 対面(リモート) |
| 4 | 社会的認知の基礎(3) 顕在的態度と潜在的態度、IAT     | 対面(リモート) |
| 5 | 社会的認知の基礎(4) 社会的アイデンティティ、システム正当化 | 対面(会場)   |
| 6 | 偏見差別の実態と解析(1)                   | 対面(会場)   |
| 7 | 偏見差別の実態と解析(2)                   | 対面(会場)   |

|    | 授業の内容               | 授業の方法  |
|----|---------------------|--------|
| 8  | 偏見差別の実態と解析（3）       | 対面(会場) |
| 9  | 学術論文の講読とディスカッション（1） | 対面(会場) |
| 10 | 学術論文の講読とディスカッション（2） | 対面(会場) |
| 11 | 学術論文の講読とディスカッション（3） | 対面(会場) |
| 12 | 全体のまとめ              | 対面(会場) |

## ■レポート課題

|                |   |
|----------------|---|
| スクーリング<br>事後課題 | 本授業で扱った社会心理学の理論を用いて、現代社会において実際に生じている偏見・差別、排斥行動、あるいは集団間対立に関わる具体的事例を1つ取り上げ、その生起メカニズムと解消に向けた方策について論じなさい。 |
|----------------|---|

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

## ■アドバイス

レポートでは、まず問題の背景とその検討意義を明確に示した上で、当該事例について既存の資料や調査結果などにに基づき事実関係を整理してください。その後、考察に用いる社会心理学的理論を明示し、当該理論の観点から事例の生起メカニズムを分析してください。さらに、その分析を踏まえ、問題の緩和・解消に向けた社会心理学的介入や方策を検討してください。

より具体的には、以下の点を踏まえて執筆してください。

- ・書式は引用文献の書き方も含めて、心理学分野の学術論文に準じた形式としてください。
- ・事例は、現代社会で実際に生じている具体的な問題を一つ選び、新聞記事、調査報告、統計資料など、信頼できる情報に基づいて事実関係を丁寧に整理してください。事実と自分の意見を明確に区別することが重要です。
- ・理論の紹介では、考察に用いる社会心理学的理論を引用先も明記した上で明示してください。心理学の専門知識をもたない読み手を想定して述べてください。
- ・考察では、紹介した理論の観点から、当該事例がどのような認知的・社会的メカニズムによって生じているのかを論理的に分析してください。また、その分析に基づき、問題の緩和・解消に向けた具体的方策を提案してください。
- ・論理的一貫性を保つため、原則として一つの理論的枠組みを用いて、生起メカニズムと解消法の双方を論じることを推奨します。
- ・事例の分析を通じて、理論の適用範囲や限界、あるいは今後の課題が明らかになった場合には、その点についても批判的に言及してください。

## ■評価の方法・基準

スクーリング時の参加度30%、事後課題レポート70%

## ■参考文献（\*印=大学から送付される必読図書）

- \*1) 北村英哉・唐沢 稷（編） 2018年 『偏見や差別はなぜ起こる？ 心理メカニズムの解明と現象の分析』 ちとせプレス
- \*2) 唐沢かおり編 2020年 『社会的認知 現状と展望』 ナカニシヤ出版
- 3) ファザーリ・M・モハダムほか編 2008年 『テロリズムを理解する 社会心理学からのアプローチ』 ナカニシヤ出版
- 4) 池上知子著 2012年 『格差と序列の心理学 平等主義のパラドクス』 ミネルヴァ書房

- 5) ジョナサン・ハイト著 2014年 『社会はなぜ左と右にわかれるのか 対立を超えるための道徳心理学』 紀伊国屋書店
- 6) M.R. バナジほか著 2015年 『心の中のブラインド・スポット 善良な人々に潜む非意識のバイアス』 北大路書房
- 7) ジョルドン・ソロモンほか著 2017年 『なぜ保守化し、感情的な選択をしてしまうのか 人間の心の芯に巣くう虫』 インターシフト